



農山村交流全国フォーラム in 木島平 フォーラム宣言

日本文化の源流には、稲作を中心とした農耕文化があり、これは森と水の循環系を守りつつ、自然との共生を遂げてきた世界に誇るべきものです。また、この文化は、農の営みの中から培われた歴史的、文化的な価値と食料の生産、国土の保全、水資源涵養、洪水防止、保健休養、教育空間としての機能、さらには、支え合いを基本とした地域自治機能など、極めて多くの価値や機能とともに、誇りある暮らしを生み出してきました。

近年、産業構造の変化や経済のグローバル化等により、農山村の荒廃が急速に進んでおり、同時にこれらの価値や機能の多くが失われつつあります。農山村の荒廃は、そのまま国土と国家の荒廃につながるものであり、大変憂慮されるどころです。

また、今日、我が国は地球の温暖化をはじめとした環境破壊への対応、食料自給率の向上、コミュニティーの希薄化と格差顕在化による社会の荒廃への対応等、多くの課題を抱えています。そうした現在の情勢において、我が国にとって、農山村の持つ価値と機能に改めて光を当てて再構築し、農山村を活力ある地域として存続させ、農山村と都市との共生を図ることは、均衡ある国土の発展と健全な社会の形成のために、極めて意義深いものと考えます。

この度のフォーラムでは、稲作を中心とした日本の農山村の持つ普遍的多様な価値と機能を高め昇華させる方向として、『農村文明』を位置づけ、農山村の努力と共通認識、さらには都市住民の理解のもとに、農山村と都市との共生に向けて『農村文明』の創生を図る意義を確認し合いました。

これを契機に、21世紀に相応しい国際的視野に立った『農村文明』の創生を、農山村と都市双方の住民、国・地方自治体、民間組織、さらには教育研究機関等の多様な主体の連携による全国運動として、力強く推進することをここに宣言いたします。

2009年10月17日

農山村交流全国フォーラムin木島平 参加者一同

目 次

1. 歴史	1-1
2. 自然	2-1
3. 産業	3-1
4. 生活・文化・伝承	4-1
5. 村宝	5-1
6. 基礎情報	6-1

